



（第1面）

産業廃棄物処理計画作成（変更）報告書	
2023年 6月 29日	
（宛先） 埼玉県 西部 環境管理事務所長 殿	
報告者	
住所	東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル
氏名	新電元工業株式会社 代表取締役社長 田中 信吉 （電話番号 03-3279-4431 ）
2023年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成（変更）したので、埼玉県生活環境保全条例第20条第2項前段（後段）の規定により、次のとおり報告します。	
事業場の名称	新電元工業株式会社 朝霞事業所
事業場の所在地	埼玉県朝霞市幸町3丁目4番1号
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
変更の概要	—
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	電気機械器具製造業
② 事業の規模	2022年度連結売上高 101,007百万円
③ 従業員数	1,182名（2023年3月20日現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
<p>(管理体制図)</p> <p style="text-align: center;">環境委員会 (委員長：環境担当取締役 経営層によるガバナンス)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">環境管理部長 (環境管理責任者 兼 環境負荷低減主任者、排出物管理業務の統括)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">環境管理部 (特管産廃管理責任者、排出体制構築、排出場所の維持・管理、教育・啓発、運搬・処理業者対応)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">各部門 (排出物の分別・廃棄実務、排出抑制活動)</p>	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
① 現状	【前年度（2022年度）実績】
	産業廃棄物の種類 別紙2の通り
	排出量 別紙2の通り t
	(これまでに実施した取組) ・分別指導により有価売却物を増やし、産業廃棄物の排出を抑制 ・事務机、椅子、棚等の社内再利用による排出抑制 ・書類の電子化推進による紙類の排出抑制 ・委託事業者について、定期的な現地確認を実施
② 計画	【目標】
	産業廃棄物の種類 別紙2の通り
	排出量 別紙2の通り t
	(今後実施する予定の取組) ・コロナ5類変更に伴う出社拡大により、増加が見込まれる排出物の量的監視・適正分別指導 ・昨年度の内容を継続実施
産業廃棄物の分別に関する事項	
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・排出物の分別教育を実施 ・区分毎に排出場所を設け、定期的に巡視して維持・管理 ・異常発生時は全社通知等で適宜周知・是正 ・運用にて生じた分別の改善点を適宜反映
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・昨年度の内容を継続実施

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	全処理委託量	別紙2の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙2の通り	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙2の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙2の通り	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙2の通り	t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・新規委託予定事業者に対する、現場確認の徹底。 ・継続委託事業者に対しては、定期的に現場確認を実施。 ・委託事業者選定時に優良認定の取得有無を考慮する。 		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	全処理委託量	別紙2の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙2の通り	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙2の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙2の通り	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙2の通り	t
	(今後実施する予定の取組) ・前年度実施事項の継続実施		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 「変更の概要」の欄は、変更の報告の場合に記載することとし、その記載に当たっては、変更した部分について変更前及び変更後の内容の概要を対照させること。
- 2 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記載すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記載すること。
 - (2) ②欄には、製造業における製造品出荷額（前年度実績）、建設業における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関における病床数（前年度末時点）等、業種に応じて事業規模が分かるような前年度の実績を記載すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物について発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記載すること。
- 3 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量及び自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記載すること。
- 4 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記載するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和46年政令第300号）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、再生利用業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の4の2第1項の認定を受けた者）への処理委託量並びに認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記載すること。
- 5 それぞれの欄に記載すべき事項の全てを記載することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記載すべき事項がないときは、「―」を記載すること。
- 6 ※印の欄には、記載しないこと。
- 7 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別紙1:産業廃棄物の一連の処理工程

1) 自社処理

無し

2) 委託処理

産業廃棄物の区分		中間処分の方法		中間処分後の処分方法
汚泥	⇒	脱水	⇒	原料として再生
	⇒	中和	⇒	下水放流
	⇒	焼却	⇒	原料として再生
廃油	⇒	焼却	⇒	廃熱回収
廃プラ	⇒	破碎・減容	⇒	補助燃料として利用
木くず	⇒	破碎	⇒	補助燃料として利用
金属くず	⇒	破碎	⇒	金属として再生
ガラスくず	⇒	洗浄	⇒	原料として再生
陶器くず	⇒	破碎	⇒	原料として再生
がれき	⇒	焼却	⇒	原料として再生
水銀使用製品 廃棄物(蛍光灯)	⇒	破碎	⇒	原料として再生
	⇒	洗浄	⇒	原料として再生
乾電池	⇒	機械選別	⇒	原料として再生

別紙：産業廃棄物の排出実績および排出目標

1)2022年度排出目標・実績(単位:トン)

産業廃棄物の区分	全処理委託量		委託の内訳					
			優良事業者		再生利用業者		認定熱回収業者	認定外の熱回収業者
	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	-	-
汚泥	34.000	21.555	34.000	21.555	0.000	0.000		
廃油	1.000	0.357	1.000	0.357	0.000	0.000		
廃プラ	30.000	17.400	30.000	17.400	0.000	0.000		
木くず	10.000	5.610	10.000	5.610	0.000	0.000		
金属くず	30.000	1.649	29.000	1.649	1.000	0.000		
ガラスくず	1.000	0.080	1.000	0.080	0.000	0.000		
水銀使用製品 廃棄物(蛍光灯)	0.500	0.003	0.500	0.003	0.000	0.000		
乾電池	0.000	0.007	0.000	0.007	0.000	0.000		
総計	106.500	46.661	105.500	46.661	1.000	0.000	-	-

2)2023年度排出目標・実績(単位:トン)

産業廃棄物の区分	全処理委託量		委託の内訳					
			優良事業者		再生利用業者		認定熱回収業者	認定外の熱回収業者
	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	-	-
汚泥	25.000		25.000		0.000			
廃油	1.000		1.000		0.000			
廃プラ	25.000		25.000		0.000			
木くず	8.000		8.000		0.000			
金属くず	5.000		5.000		0.000			
ガラスくず	0.200		0.200		0.000			
水銀使用製品 廃棄物(蛍光灯)	0.010		0.010		0.000			
乾電池	0.010		0.010		0.000			
総計	64.220	0.000	64.220	0.000	0.000	0.000	-	-